

理念
支えあい・分かち合い



藤井脳神経外科病院
〒329-1105 栃木県宇都宮市中岡本町 461-1
電話：028-673-6211 (代)
FAX：028-673-2115
E-Mail：fujiihp@apricot.ocn.ne.jp
ホームページ：http://www.fujiihp.or.jp/



藤井脳神経外科病院

地域連携ニュース



2023年5月号

診療時間

○ 診察可 × 休診

診療時間		月	火	水	木	金	土
9:00～12:00 (受付 8:30～11:30)	初診	○	○	○	○	○	○
	再診	○	○	○	○	○	○
14:00～17:30 (受付 13:30～16:30)	初診	○	○	×	○	○	×
	再診	○	○	×	○	○	×
休診 水曜日・土曜日の午後、日曜日、祝日 *急患は24時間対応します。							

外来担当表

	月	火	水	木	金	土
午前	鈴木 博子	國峯 英男	鈴木 康隆	藤井 卓	國峯 英男	鈴木 博子 (第1・3・5週)
	* 淀縄 昌彦 (第2・4週)	鈴木 康隆	* 浅田 英穂 (第1・2・4・5週)	鈴木 博子	鈴木 博子	* 坂本 和也 (第2・4週)
	* 坂本 和也	鈴木 博子	* 自治医大	* 大橋 康弘	* 淀縄 昌彦	* 滑川 道人 (神経内科)
	* 交代制		* 交代制			* 交代制
午後	* 淀縄 昌彦	西田 舞 (内科)	休診	* 大橋 康弘	* 淀縄 昌彦	休診
	交代制	* 獨協医大		* 獨協医大		

上記の担当は、都合により変更となることがあります。

* 非常勤医師

新緑のまぶしい季節となりました。

新型コロナウイルスの基準変更が、感染症の姿をどのように変えるのか予断を許さない状況でもありますが、人々の動きはコロナ禍以前へ向けて進み始めているようです。

当院が「日本臨床脳神経外科学会」の主催を引き受けてから、すでに3年となり。いよいよ7月の本番を迎えることとなりました。北海道から沖縄までの各地から多くの仲間が集まります。今回の連携ニュースは7月の学会開催前に当学会の宣伝を兼ねての広報でもあります。医師だけが集まる学会ではないところが特徴であり、医療関係者の誰でもが参加できます。即ち、地元の皆様の参加やご協力にも期待しています。

市民公開講座も用意してあります。

<日本脳神経外科学会と日本臨床脳神経外科学会との関係は？>

1948年に新潟で開催された「日本外科学会」の中で、「日本脳・神経外科研究会」が生まれました。現在の「日本脳神経外科学会」は1965年に発足した**医師のみ**の学術集団です。従って、研究や教育も担う大学病院がその中心となり学会が運営されています。

東京大学脳神経外科初代教授の佐野圭司先生を中心に1998年(平成10年)に多職種からなる学びの場として、「日本臨床脳神経外科学会」が誕生しました。

緊急性や緻密性も求められる脳神経外科の日常診療では、医師を含む多職種がチームを組んで医療活動を行っています。脳神経外科診療の向上のためには多職種からなる医療チーム全体のレベルアップが必須です。昭和60年代から平成に入ると共に、その必要性を強く感じた民間脳神経外科病院が呼応して、佐野圭司理事長を中心に、多職種での研鑽を積む場を持つようになりました。当初は「日本病院脳神経外科学会」として始まり、現在は「日本臨床脳神経外科学会」となり、「日本脳神経外科学会」との連携の中で運営されています。

従って、全国の大学や民間病院からも多職種が集まる大きな学会として成長を続けています。当院は平成10年の第1回大会から藤井が理事として参加し、共に成長を続けて参りました。

当初から、学会の少ない7月に会期を当て、多くの参加者を集めてきましたが、コロナ禍が始まってからの3年間は11月に会期をずらし、現地参加を極端に制限しての開催でした。当然参加者は激減しました。今年は会期を7月に戻し現地参加のみの会としました。「テーマ」はチーム医療を高めるため、当院の理念と同じ「支えあい 分かち合い」としました。蓋を開けるのが楽しみです。

理事長 藤井 卓

お知らせ

7月16日(日)16時～ 市民公開講座を開催します。
ここまで進歩した頭痛治療 ～かけがえのない日常を取り戻そう～
参加登録は第26回日本臨床脳神経外科学会 HP から
お願いします! <http://jansc26.umin.ne.jp/shimin.html>





脳神経外科医療のトピックス (25)



「第26回日本臨床脳神経外科学会」のプログラムをご紹介します。

以下の様々な企画、講演を予定しています。



● プログラム開催時間 (予定)

7月15日(土) 8:40 ~ 17:30 懇親会 17:50 ~ 19:50

7月16日(日) 8:45 ~ 16:00 市民公開講座 16:00 ~ 18:00

● 文化講演

1 「世界遺産日光東照宮」 稲葉 久雄 (日光東照宮 宮司)

2 「望ましい医療の言葉」 田中 牧郎 (明治大学国際日本語学部 教授)

● 学会特別企画

1 「世界遺産と共に守られる「日光天然の氷」」 山本 雄一郎 (日光天然氷四代目徳次郎)

2 「須佐神社と出雲神話」 須佐 建央 (須佐クリニック 院長)

● 特別講演

1 「ポストコロナの mRNA 医薬 - mRNA 医薬による中枢神経疾患治療研究 -」 福島 雄大 (東京医科歯科大学)

2 「脳神経外科に対する働き方改革の影響とその解決策としての DX」
高橋 泰 (国際医療福祉大学 (IUHW) 赤坂心理・医療福祉マネジメント)

3 「オンライン診療：私たちはどこまでできるか」 大林 克巳 (大林クリニック 院長)

4 「個人情報保護法の基本を理解する」 宮澤 潤 (弁護士)

5 「当院における高気圧酸素療法の運用～主に脊椎脊髄疾患に関して～」
大竹 安史 (社会医療法人医仁会 中村記念病院 脊椎脊髄・抹消 センター長)

6 「医療機関の情報セキュリティと対策「他人事ではない！サイバー攻撃被害と多層防御の重要性」
三好 啓喜 (デジタルデータソリューション株式会社 取締役 CFO)

7 「風前の灯の皆保険に高まる医療需要、今病院を救うには株式会社化以外あり得ない」
北原 茂実 (医療法人社団 KNI 北原国際病院 理事長)

8 「失語症に対する音楽療法」 佐藤 正之 (東京都立産業技術大学院大学 認知症・神経心理学講座 教授)

9 「医療安全-根本原因分析 (RCA) に基づく業務フローの改善」
長谷川 友紀 (東邦大学医学部社会医学講座 医療政策・経営科学分野)



● 領域講習

1 「てんかん診療とてんかん外科の現況と未来」 川合 謙介 (自治医科大学 脳神経外科 教授)

2 「脳卒中診療における血管内治療の役割」 根本 繁 (関東労災病院 院長)

3 「下垂体腫瘍の臨床：新しい概念と内視鏡下手術」 登坂 雅彦 (群馬大学医学部 脳神経外科 准教授)

● 教育講演

1 「メディカルスタッフに必要な画像の見方 - 診断に有用な MRI 撮像法と画像所見 DWI・SWI を中心に -」
佐藤 典子 (国立精神・神経医療研究センター病院 放射線診療部)

2 「リハビリテーション医療と ICF-ICF における支え合いと分かち合い -」
美津島 隆 (獨協医科大学リハビリテーション医学講座 教授)

3 「高次脳機能障害の評価と治療」 前島 伸一郎 (国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター センター長)

4 「支払基金の業務の概要と審査に係る取組み - 審査結果の不合理な差異解消と適正なレセプト請求に向けて -」
山本 光昭 (社会保険診療報酬支払基金本部 理事)

5 「最近話題の頭部外傷疾患による医療訴訟」
島 克司 (防衛医科大学名誉教授、桃泉園北本病院副院長 回復期リハビリテーションセンター長)

6 「片頭痛診療の新世紀」 平田 幸一 (獨協医科大学 副学長)

7 「腰椎椎間板ヘルニアに対する手術法の変遷と現況」
花北 順哉 (藤枝平成記念病院脊椎脊髄疾患治療センター 副院長)

8 「脳障害と自動車運転 - 運転可否の判断について -」
一杉 正仁 (国立学校法人滋賀医科大学 社会医学講座 法医学部門 教授)

9 「脳腫瘍に対する神経内視鏡手術：負担の少ない治療を目指して」
阿久津 博義 (獨協医科大学脳神経外科学講座 教授)

● シンポジウム

1 「認知症治療の現状とこれから」

2 「がんと脳卒中」

3 「どうする？脳神経外科病院 - これからの医療環境を踏まえて -」

4 「連携医療」

会場は、宇都宮駅東口交流拠点施設「ライトキューブ宇都宮」となります。
多くの方のご参加を、お待ちしております。

第26回日本臨床脳神経外科学会 実行委員長
藤井脳神経外科病院 院長 鈴木康隆

